

人材育成への取り組み

人間性を重視した登用、有為な人材の育成等、 「人材価値」の向上に取り組んでいます。

開かれた雇用機会の提供

SBIグループでは採用において、プロフェッショナルとしての職歴や技能だけでなく人間性をより重要視しています。また従業員には、性別・学歴・国籍は一切問いません。2006年から開始した新卒採用においてもこの基準に照らし、多様なバックグラウンドを持つ将来性の高い人材を多数採用してきました。中途・新卒にかかわらず、優秀な人材に対しては積極的に登用し、昇進させる姿勢を徹底しています。

多様な社員の活躍を支える取り組み

SBIグループでは、様々な地域での事業展開に伴い、多様な国籍の従業員を雇用しており、社員一人ひとりが人種、宗教、肌の色、出身国、年齢、性別、障がいの有無にかかわらず活躍できるよう様々な取り組みを行っています。

また、当社従業員のうち2割強を占める女性一人ひとりが広い視野を持ち、自律的にキャリアを構築し、多様なフィールドで活躍できる働きやすい職場環境作りに注力しています。結婚や出産といったライフステージの変化に応じ、育児休業や短時間勤務制度など

を整備するなど、仕事と育児の両立支援を中心に行い、採用・昇格・昇進など全てにおいて性別に区別なく、実力に応じた評価を行っています。

女性従業員の状況(単体)

(単位:%)

	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期
女性従業員比率	26.2	25.5	23.3
女性管理職比率	8.9	6.8	9.3

公正で意欲に応える処遇

従業員の処遇は成果のみならず、結果に至るプロセスをも重視しています。その評価は、半期ごとの目標達成度をもとに、経験、能力、業績への貢献度等に応じて総合的に判断して決定され、「功ある者には禄を与え、良識・見識ある者には地位を与える」という方針を貫いています。

SBI大学院大学を通じた人材育成への取り組み

SBI大学院大学は、SBIグループが全面支援をして、人材育成に本格的に取り組むことを目指して2008年4月に開校しました。志あるビジネスパーソンを対象に、日本及び世界の経済・社会に活力をもたらす「有為な人材」を育成することをその活動の主眼とし、「確たる倫理的価値観と判断力・実行力を持ち、広く経済・社会に貢献しようとする高い志を有する人材」「ビジネスにおける高い専門性を備えた人材」「国際的視野を持った人材」を輩出することを目指しています。多彩な教授・講師陣を迎え、経営分野に関する実務教育のみならず、『論語』や『兵法書』などに代表される中国古典などの授業を通じて、これからの企業経営者やリーダーに欠くことのできない正しい倫理的価値観や人間力を涵養するとともに、幅広い教養を身に付けさせることで「真の人物」の育成を図ります。



授業は最先端のe-ラーニングシステムを採用しており、インターネットとパソコンがあれば、どこでも受講が可能です。なお、当大学院大学は文部科学省より認可を受けており、卒業時に要件を満たした者には『MBA:経営管理修士(専門職)』を授与します。

さらに、優秀な成績で修了した者が起業する場合や業容の拡大を志す場合、SBIグループにてそれらを全面的に支援しています。